みなさまの健康と心の支えに

新潟厚生連

小千谷総合病院　第32号

# 地域連携だより

発行：ＪＡ新潟厚生連　小千谷総合病院　患者サポートセンター
〒947-8701 小千谷市大字平沢新田111番地
TEL．0258-81-1616(直通)　FAX．0258-81-1602(直通)

## ごあいさつ

新潟県厚生連小千谷総合病院　地域連携支援部長
家　里　　裕

厚生連小千谷総合病院が開院して９年目になります。

皆様のご支援を賜り、開院当初より地域医療に密着した医療を目指してきました。当院地域連携支援部の役割として、地域の診療所や高齢者施設との連携により入退院がスムーズに行われることに努め、また長岡地域の急性期病院と連携し、急性期後のリハビリや亜急性期疾患の受け入れなどを積極的にやってきました。

さて当院では、小千谷市魚沼市医師会より在宅医療推進センター事業を委託され、地域連携支援部で活動しています。令和６年度からの第８次新潟県地域保健医療計画では、地域における在宅医療の提供体制の整備及び推進を掲げています。昨年度実施した診療所への在宅医療・看取り体制の実態把握調査や、ヒアリングを通じて実感したことは、県内の医師不足と言われている状況下でも、市内診療所の在宅医療・看取り体制は、患者様のニーズがあれば対応して頂いているということです。当院としましても昨年度に引き続き、患者サポートセンターを窓口とし、診療所や施設の後方支援（急変時24時間対応や医師不在時の看取り対応体制等）をおこない、地域の診療所・施設の皆様方へ貢献・還元できればと考えております。また在宅医療を支えるには訪問看護との連携が大変重要で、併せて当院の小千谷訪問看護ステーションひまわりも小千谷市全域・長岡市小国・川口地域の患者様のために、長岡地域の急性期病院や診療所との連携を図り、お役に立てればと考えております。

小千谷地域は高齢者の多い地域でもあり、長岡地域の急性期病院や地域の診療所や高齢者施設との連携を密に、スムーズな受診や入退院支援が行われるように努めてまいります。

今後とも宜しくお願い致します。

看護部長　坂内広恵

日頃より先生方には病院への理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

令和７年４月に着任いたしました小千谷総合病院看護部長の坂内広恵と申します。厚生連内での異動としては４か所目の病院となりますが、小千谷はもともと生まれ育った場所ですので、愛着があり小千谷で勤務できることをとても嬉しく感じております。

小千谷総合病院は急性期から慢性期、介護医療院までを備え、患者様の状態を広範囲にカバーできるケアミックス病院として病床機能転換を行いました。コンパクトながら多機能で地域の医療ニーズに応えることが出来ると考えます。また、十日町診療所や岩沢診療所など広域に患者様をカバーできる体制を備えています。

看護部は「温かな心のこもった看護の実践」を理念としています。

患者様や患者様を取り巻く方々の思いに寄り添い、多職種と連携しながら、患者様にとって最善の医療を提供しご家族が安心できるよう、看護の力を発揮していきたいと思います。

着任して間もないですが、病院内で看護師が明るく優しく声をかけている姿を目にします。よい看護は温かな視線と笑顔から生まれます。地域に根ざし、地域の皆様と共に育つ病院でありたいと思います。

今後ともよろしくお願い申しあげます。

腎臓内科　吉田　栞

初めまして。この4月より小千谷総合病院に着任いたしました、吉田栞と申します。当院および十日町診療所において、慢性腎臓病をはじめとする腎疾患の診療ならびに腎代替療法を主に担当させていただいております。

当院では、急性腎障害やネフローゼ症候群などの糸球体腎炎の治療から、慢性期の腎不全管理、透析治療に至るまで、地域の患者様および先生方のお力になれるよう、幅広く腎疾患診療に取り組んでおります。

降圧薬、血糖降下薬、腎保護薬などの選択肢も増えてきており、先生方と連携を取りながら、末期腎不全への進行を防ぐ腎不全診療を進めていきたいと考えております。また、腎代替療法の導入に至った方にも、できる限り普段通りの生活を維持していただけるよう、お一人お一人に合った透析診療の提供に努めてまいります。

腎不全の患者様には、さまざまな併存症をお持ちの方も多く、先生方にご協力をお願いする機会も多々あるかと存じますが、何卒お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。また、軽微な検尿異常や腎機能異常においても、どうぞご遠慮なくご紹介いただけましたら幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

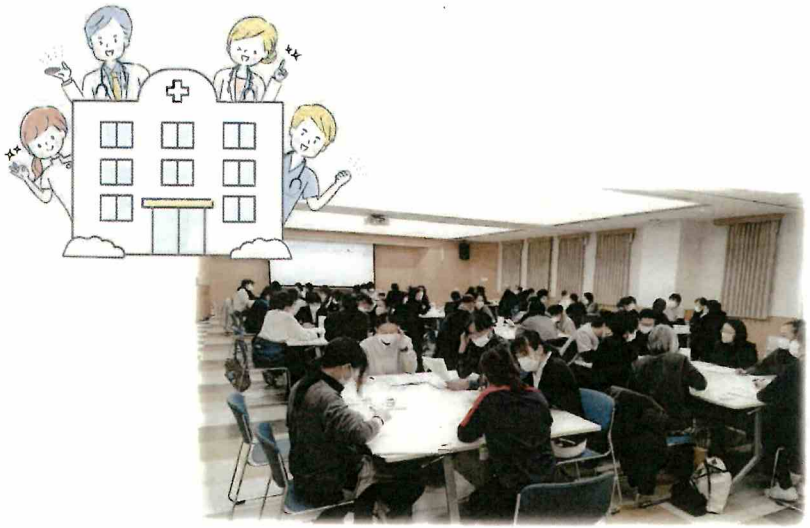
# 小千谷市在宅医療・介護連携支援センター

## ❖活動報告　～おぢや入退院支援連携ガイドについて～❖

小千谷市在宅医療・介護連携支援センター
コーディネーター　安部充美

令和４年度に完成した「おぢや入退院支援連携ガイド」を運用し始めて２年が経ちました。今回は小千谷市在宅医療連携協議会の中で、ガイドを評価・修正していくために令和６年10月に長岡地域の急性期３病院のソーシャルワーカーを含む、市内の居宅介護支援事業所ケアマネージャー、市内病院ソーシャルワーカー、小千谷市地域包括支援センター、市福祉課とワーキンググループを立ち上げ取り組みました。令和３年度に行った実態把握調査と入退院支援に関する意識調査と同様の調査を行い、２年経った現在の意識の違いや、おぢや入退院支援連携ガイドの活用状況などのアンケート調査を行いました。その結果をもとに３回のワーキングを経て「おぢや入退院支援連携ガイド」の修正案をまとめました。

２月19日開催した入退院支援勉強会では、市内介護保険事業所、診療所、薬局、病院関係者76名が集まり、修正案についてグループワークを行いガイド修正について意見交換ができました。今回修正した新たな「おぢや入退院支援連携ガイド」は近々小千谷市ホームページにて配信予定ですので、小千谷市の入退院支援連携について、ご参照・ご活用いただければと思います。



## 医師異動のお知らせ

下記の通り、医師の異動についてお知らせ申し上げます。

| | | 【退職医師】 | 【新任医師】 |
|---|---|---|---|
| 常　勤 | （内科） | 吉澤　優太 | 吉田　　栞（ヨシダ シオリ） |
| | （外科） | 根本 万理子 | |
| 非常勤 | （神経内科） | 登木口　進 | |

## 患者サポートセンター

### ご挨拶

**医療ソーシャルワーカー**
**村　田　亜由美**

4月からお世話になっております。村田亜由美と申します。長岡中央綜合病院から参りました。小千谷市はもともと生活圏が近かったこともあり、ご縁を感じています。
これからよろしくお願いします。

**退院支援看護師**
**有　馬　小夜子**

今年度より病棟勤務から地域連携支援部に異動して参りました。

病棟での勤務が長く、退院支援の業務にあたり不慣れな点も多いかと思いますが、仕事にいち早く慣れ、業務が遂行できるよう努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

### 編集後記

色とりどりの花が咲きそろう季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか。

今号の病診連携だよりは坂内看護部長、新任の吉田先生のご挨拶をお届けしました。新年度も引き続き皆様との連携で、切れ目のない入退院支援に繋がるよう努めてまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

皆さま新年度で何かと御多忙かと存じますが、体調を崩されませんようにご自愛ください。